

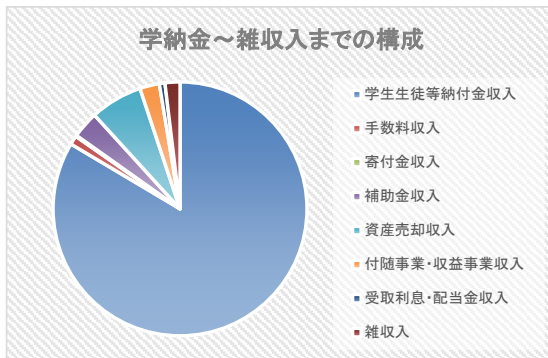
財務の概要 -平成28年度決算の概要-

(注)千円以下を四捨五入しているため合計欄(実際の金額)の数値と一致しないことがあります。

● 資金収支計算書

[収入の部]

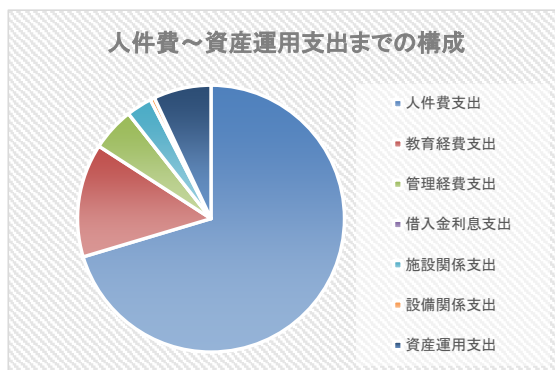
収入の部合計は、資金収入24億5,491万円に前年度繰越支払資金20億8,251万円を加えた45億3,743万円となりました。(前年度49億2,715万円 △3億8,972万円)
また、単年度の資金収入(24億5,491万円)は前年度(30億1,560万円)より約5億6,069万円減少となりました。
主な要因は、学生生徒納付金収入や資産売却収入、受取利息・配当金収入等の減少によるものです。



(単位:万円)		
科 目	決算	前年度比
学生生徒等納付金収入	202,456	△ 9,476
手数料収入	2,764	△ 4
寄付金収入	368	277
補助金収入	8,254	79
資産売却収入	16,136	△ 54,064
付随事業・収益事業収入	6,047	△ 932
受取利息・配当金収入	1,725	△ 1,047
雑収入	4,605	649
前受金収入	51,246	1,018
その他の収入	4,769	509
資金収入調整勘定	△ 52,881	6,920
資金収入(A)	245,491	△ 56,069
前年度繰越支払資金	208,251	17,096
収入の部 合計	453,743	△ 38,972

[支出の部]

支出の部合計は、資金支出22億584万円に次年度繰越支払資金23億3,159万円を加えた45億3,743万円となりました。(前年度49億2,715万円 △3億8,972万円)
また、単年度ベースでの資金支出(22億584万円)は前年度(28億4,464万円)より約6億3,880万円減少となりました。
主な要因は、管理経費支出や資産運用支出の減少です。
この結果、今年度は単年度として2億4,908万円資金が増加したことになります。



(単位:万円)		
科 目	決算	前年度比
人件費支出	155,168	2,749
教育経費支出	30,343	△ 812
管理経費支出	11,596	△ 3,157
借入金利息支出	0	0
施設関係支出	6,834	6,596
設備関係支出	1,180	△ 195
資産運用支出	15,374	△ 68,035
その他の支出	5,439	△ 963
資金支出調整勘定	△ 5,351	△ 64
資金支出(B)	220,584	△ 63,880
翌年度繰越支払資金	233,159	24,908
支出の部 合計	453,743	△ 38,972
単年度収支差額(A)-(B)	24,908	7,812

また、昨年度から新たに『活動区分資金収支計算書』が増え、その結果が右表のとおりとなります。
「教育活動収支」及び「その他の活動収支」ではプラス、「設備整備等活動収支」はマイナスの結果となりました。
なお、当年度の教育活動から生じた収支で当年度の施設設備資金をどの程度賅っているのかを小計で見ることができます。

(単位:万円)				
活動区分	収入	支出	差異	前年度比
教育活動収支	224,495	197,107	27,388	△ 17
設備整備等活動収支	0	8,015	△ 8,015	△ 8,416
小計(教育活動収支+設備整備等活動収支)	224,495	205,122	19,373	△ 8,433
その他の活動収支	19,954	15,752	4,202	14,913

この数値は借入金による資金調達なしで施設設備に必要な資金を充当できていることとなります。

● 事業活動収支計算書

[教育活動収支]

この教育活動収支では、本業である教育活動に係る収支を表しています。
教育活動収入計は22億6,086万円、支出計は22億5,609万円で収支差額はプラス477万円となりました。

(単位:万円)

科 目	決算	前年度比
学生生徒等納付金	202,456	△ 9,476
手数料	2,764	△ 4
寄付金	372	269
経常費補助金	8,254	79
付随事業収入	6,047	△ 932
雑収入	6,192	770
教育活動収入計	226,086	△ 9,293
人件費	155,217	2,353
教育活動経費	56,280	△ 168
管理経費	14,111	△ 3,890
徴収不能額	0	0
教育活動支出計	225,609	△ 1,704
教育活動収支差額	477	△ 7,589

[教育活動外収支・経常収支差額]

この教育活動外収支では、財務活動(資金調達・資金運用等)に係る収支を表し、最後の経常収支では、上記の教育活動と教育活動外の合計(臨時的な収支を除いた差額)を表しており、学校の経常的な事業活動が安定的であるかを判断する指標となります。
今年度の収入は1,725万円、支出は94万円のため収支差額はプラス1,631万円となりました。
また、経常収支差額は、教育活動収支の477万円に1,631万円を加算し2,108万円となりました。

(単位:万円)

科 目	決算	前年度比
受取利息・配当金	1,725	△ 1,047
その他の教育活動外収入	0	0
教育活動外収入計	1,725	△ 1,047
借入金等利息	0	0
その他の教育活動外支出	94	94
教育活動外支出計	94	94
教育活動外収支差額	1,631	△ 1,141
経常収支差額	2,108	△ 8,730

[特別収支]

この特別収支では、資産の売却処分等による差額や現物寄附、過年度修正等一時的に発生した臨時的な収支を表しています。
収入計は240万円、支出計が17万円で収支差額が223万円のプラスとなりました。
収入は、現物寄附等によるもので、支出は設備改修による資産の除却によるものです。

(単位:万円)

科 目	決算	前年度比
資産売却差額	136	136
その他の特別収入	104	△ 134
特別収入計	240	2
資産処分差額	17	△ 16
その他の特別支出	0	0
特別支出計	17	△ 16
特別収支差額	223	18

[基本金組入・当年度収支差額ほか]

三つの区分けの結果、当年度基本金組入前の収支差額が2,331万円のプラス。
本年度固定資産の取得や除却などにより算出された額として基本金への組入額7,189万円を加算すると、当年度収支差額は4,858万円のマイナスとなりました。
平成27年度から繰り越した収支差額が3億5,123万円のマイナスため平成29年度への繰越収支差額は3億9,981万円という結果になりました。

(単位:万円)

科 目	決算	前年度比
当年度基本金組入前収支差額	2,331	△ 8,712
基本金組入額合計	△ 7,189	△ 5,650
当年度収支差額	△ 4,858	△ 14,362
前年度繰越収支差額	△ 35,123	9,504
翌年度繰越収支差額	△ 39,981	△ 4,858

● 貸借対照表

[資産の部]

(単位:万円)

固定資産は今年度127億1,174万円で昨年度より2億2,286万円減少しています。

減少の主な要因は、有形固定資産の減価償却費ですが取得した増加分との差異により減少という結果になりました。(増加:専門学校の空調機改修工事による建物附属設備)また、その他の固定資産は2,312万円の減少で、有価証券の売却がほぼその要因です。

流動資産は、現預金が2億4,908万円の増加。これは資金収支計算書の末尾に述べた単年度資金の増額と同額となります。

その他の流動資産は、前払金等の減少により435万円の減少となっています。

結果、資産の部合計では150億7,917万円が本年度額となり昨年度より2,187万円の増加となりました。

科 目	本年度	前年度	差異
固定資産	1,271,174	1,293,460	△ 22,286
有形固定資産	1,154,277	1,174,251	△ 19,974
土地	609,079	609,079	△ 0
建物(建物附属設備)	503,391	516,865	△ 13,474
構築物・機械装置	4,809	5,498	△ 689
教育研究用機器備品	22,169	27,509	△ 5,340
管理用機器備品	2,333	3,025	△ 692
図書	12,498	12,275	223
特定資産	5,978	5,978	△ 0
その他の固定資産	110,919	113,231	△ 2,312
電話加入権	28	28	△ 0
ソフトウェア	304	641	△ 337
有価証券	97,494	98,458	△ 964
その他	13,093	14,104	△ 1,011
流動資産	236,743	212,270	24,473
現金預金	233,159	208,251	24,908
その他	3,584	4,019	△ 435
資産の部 合計	1,507,917	1,505,730	2,187

[負債・純資産の部]

(単位:万円)

固定負債は、今年度7,072万円で昨年度より1,540万円減少。東京都私学財団ならびに私立大学退職金財団の交付率等の見直しにより、本学園の退職給与引当金の取崩しを行ったことによるものです。

また、流動負債は5億7,536万円と昨年度より1,397万円増加。大きくは、次年度入学予定者等から徴収する前受金の増加によるものです。

結果、負債の部合計は6億4,608万円となり昨年度より143万円の減少となりました。

基本金は、事業活動収支でも述べたように、本年度、第1号基本金へ7,189万円繰入した為、その額が増加しています。したがって、繰越収支差額は3億9,981万円のマイナスとなり、純資産の部の合計は144億3,309万円、負債及び純資産の部の合計は150億7,917万円となりました。

科 目	本年度	前年度	差異
固定負債	7,072	8,612	△ 1,540
退職給与引当金	6,980	8,517	△ 1,537
預り敷金	92	95	△ 3
流動負債	57,536	56,139	1,397
未払金	4,514	4,515	△ 1
前受金	51,247	50,229	1,018
預り金	1,775	1,395	380
仮受金	0	0	0
負債の部 合計	64,608	64,751	△ 143
第1号基本金	1,469,090	1,461,901	7,189
第4号基本金	14,200	14,200	0
基本金計	1,483,290	1,476,101	7,189
繰越収支差額	△ 39,981	△ 35,122	△ 4,859
純資産の部合計	1,443,309	1,440,979	2,330
負債及び純資産の部合計	1,507,917	1,505,730	2,187